

今後のステージの運用及び 感染拡大防止に向けた対策（道案）に対する主な意見

1 専門家等の意見

- ・ 集中対策期間を延長し、新たな対策を実施することは、妥当である。
- ・ 医療提供体制がひっ迫しており、医療を継続するためという点を強調していただきたい
- ・ データを見ると、新規感染者の増加傾向やすすきの感染者数など一定の効果を見られる項目もあり、これ以上の感染拡大の抑制のために現在の方向を継続することに賛成する。
- ・ 11月の特徴となってしまった高齢者施設や医療機関でのクラスター発生を予防するために特化した行動変容にも力を入れていただきたい。
- ・ 不要不急の外出、市外の往来自粛は引き続き徹底の呼びかけが必要である。
- ・ すすきの地区における対策については、結果が伴ってきているのでこのまま継続すべき。また、接待を伴う飲食店の休業要請は、感染拡大抑制に効果的であると考えます。
- ・ 家庭内や学校内での感染対策を実施するほか、施設への協力依頼のほかに、道民一人一人の感染対策の理解と実施による、蔓延予防が対策になると考える。
- ・ 引き続き、道民の方々の理解・協力が緩むことの無いよう、メッセージを発信いただきたい。
- ・ 介護施設などの状況を踏まえると、重症化リスクの高い方々の感染リスクを回避する行動の徹底の呼びかけは大変重要である。
- ・ とにかく強い措置を短期間で実施し、この状況を打開することが必要。

2 市町村・関係団体の意見

- ・ 高校での感染が拡大していることから、「重症化リスクの高い方と接する方等」に限らず全世代へ感染リスクの回避を呼びかけ、行動変容の徹底を促すことが必要である。
- ・ 札幌市での感染者が増えている状況を踏まえると今回の対策に、異論は無い。
- ・ 「感染リスクを回避できる場合」でも、できるだけ控えるというメッセージの方がわかりやすいと考える。

- ・感染拡大防止と経済活動の両立に向け、今回の追加対策により、全道全域で経済が冷え込むことのないよう、企業の倒産や従業員の雇い止めに繋がることのないよう、継続的な支援が必要である。
- ・感染拡大が一定程度収まった後には、特に大きな打撃を受けた交通、飲食、宿泊、観光事業者などの業種に関わる需要の積極的な喚起策を講じていただきたい。
- ・今回の対策は、バス事業者の経営をさらに圧迫することになることから、地域の公共交通を守るという観点からの支援を要望する。